

一ノ関駅東西自由通路整備に係る検討状況について

1 検討経過

- ▶ 一ノ関駅東西自由通路整備については、駅利用者及び市民の生活における利便性の向上、中心市街地の活性化を図るうえで、必要性を認識していたが、自由通路の新たな整備は技術面・財政面の両面で長年の課題となっていた。
- ▶ 市は、一ノ関駅の既存跨線橋を活用したソフト的な解決手法について、独自の情報収集や東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」という）との意見交換を実施してきたが、駅の営業時間外に通行できないことや維持管理のコストの増高などが課題となった。
- ▶ JR東日本との情報交換を重ねる中で、令和5年度末にJR東日本側から一ノ関駅の既存跨線橋を改修し、一部を自由通路として活用するハード的な解決手法の検討について提案を受けた。
- ▶ 既存跨線橋の改修による自由通路整備手法の実現可能性を判断するため、JR東日本に対して「基本計画調査」を委託することについて、補正予算の議決を得て、令和6年10月1日付けで基本計画調査の実施に係る協定を締結した。

2 一ノ関駅東西自由通路整備に係る基本計画調査の実施について

(1) 調査概要

既存跨線橋の一部を自由通路に改修する技術的な建築・土木・電気系統の調査及び改修工事に係る建築基準法や消防法等の法令上の制限を確認し、整備が可能であるか調査・検討を実施

(2) 実施主体 一関市

(3) 委託先 JR東日本

(4) 履行期間 令和6年10月から令和7年10月末まで

(5) 東西自由通路整備調査案

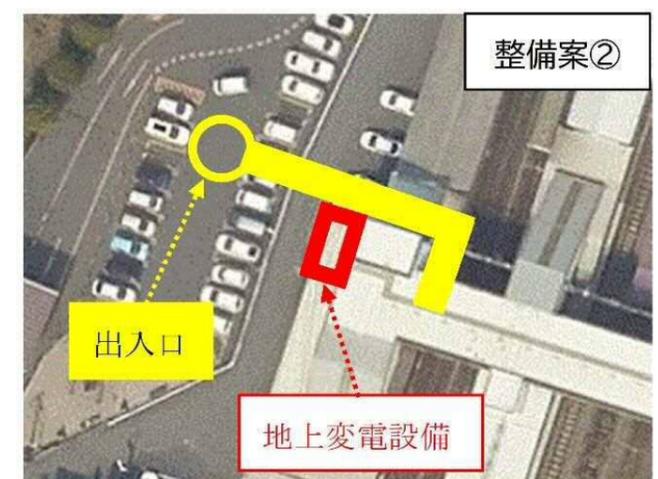
- ① 一ノ関駅既存跨線橋をストレートに延伸し、東西自由通路出入口を市営西口北駐車場に設置する案
- ② ①案を基本とし、一ノ関駅西口側エレベーター付近の地上変電設備を回避した上で、東西自由通路出入口を市営西口北駐車場に設置する案

(6) 予算積算内訳（調査設計費）

令和6年度	126千円
令和7年度	18,372千円
合計	18,498千円

3 基本計画調査の結果

- ▶ 一ノ関駅東西自由通路整備について、技術上の各種法令の制限を確認した結果、既存跨線橋を改修し、一部自由通路として整備ができる確度が高まっているとJR東日本から報告を受けた。
- ▶ 工期について、現時点では設計と工事を合わせておよそ8年程度の期間を要する。
- ▶ 整備費用について、現時点では、60～70億円程度の費用を要する。
- ▶ 現時点の検討状況を踏まえ、東西自由通路の整備に関して、工期の短縮、整備費用の縮減の更なる検討を行うため、基本計画調査の延長として継続調査の実施についてJR東日本と協議を進めている。



4 基本計画調査の継続調査について

- ▶ JR東日本との協議を踏まえ、市では東西自由通路の整備に係る工期の短縮、整備費用の縮減を検討するため、基本計画調査の延長として継続調査を行いたい。
- ▶ 継続調査の実施に係る詳細については、JR東日本と協議のうえ調整する。